

持続可能な自立共生空間の構築と 発展的コミュニティの形成

工学部・生物資源科学部

開催日時：平成22年2月20日（土）・平成22年2月22日（月）

主催：シンポジウム実行委員会（委員長：加藤康司，副委員長：糸長浩司・橋本 純）

産業革命を契機として急拡大した人類の産業と経済の活動は、250年でエネルギーと鉱物の「①資源枯渇」と地球の「②環境破壊」及び世界の「③人口急増」と「④食糧危機」をもたらし、更に地球上の「⑤生物種の激減」をもたらしました。①～⑤の問題に対応するためには、際限の無い大量消費の物質文明が限界にきていること及び汚染の進んだ環境の中での健康確保が困難であることを深く認識し、人類と生物種の存続のための新たな生き方を構築しなければなりません。そのために、工学部、生物資源科学部キャンパスでの実証的研究テーマである持続可能で健康的な生活スタイル、自立共生建築、エコハウス、エコビレッジ、エコロジカル・コミュニティ、オールタナティブテクノロジー、ロハス工学、環境教育、地域社会形成の産業と行政、をキーワードとした講演と討論を行います。奮ってご参加下さい。



生物資源科学部：神奈川県藤沢市

2月20日（土）：9時00分～17時30分

【講演：第1部（午前）】

- ピオーフづくりと環境教育 島田正文（短期大学部）
- コーポラティブコミュニティ 川岸梅和（生産工学部）
- 世界のエコビレッジ 糸長浩司（生物資源科学部）
- 生物多様性と地域環境づくり 河野英一（生物資源科学部）

【昼休み】

- 見学会 生物資源科学部キャンパスエコビレッジ (CNES)

【講演：第2部（午後）】

- 日大工学部ロハスのこれまでとこれから 加藤康司（工学部）
- デンマークのエコロジカルな地域づくり政策 リンドフラッド（元デンマーク大使館参事）
- 環境教育センターと持続循環型地域社会経済の形成 ビーターハーバー（英国 Center for Alternative Technology 理事）

【パネルディスカッション】

- テーマ「エコロジカル・コミュニティと教育」

会場：日本大学 生物資源科学部・本館中講堂1
神奈川県藤沢市亀井野1866
小田急 江ノ島線 六会日大前駅下車（徒歩10分）



工学部：福島県郡山市

2月22日（月）：9時00分～17時30分

【講演：第1部（午前）】

- 日大工学部のロハス (LOHAS) 出村克宣・加藤康司（工学部）
- 東北芸工大のエコハウス 竹内昌義（東北芸術工科大. みかんぐみ）
- 福島県飯館村エコハウス 佐藤周一・高橋栄二（福島県飯館村）
- ライフサイエンスと地域医療産業創出 尾股定夫（工学部）

【昼休み】

- 見学会 工学部ロハス建築

【講演：第2部（午後）】

- デンマークのエコロジカルな地域づくり政策 リンドフラッド（元デンマーク大使館参事）
- キャンパスエコビレッジと世界のエコビレッジ 糸長浩司（生物資源科学部）
- 英国CATと自立共生建築と地域社会の形成 ビーターハーバー（英国 Center for Alternative Technology 理事）

【パネルディスカッション】

- テーマ「エコロハスの教育・産業・経済・行政」

会場：日本大学 工学部・62号館（ハットNE）3F6231号室
福島県郡山市市田村町徳定字中河原1
JR郡山駅 → 日本大学下車（日大行バス 20分）



★参加はどなたでも可能です。両会場とも参加費は無料です。逐次通訳あり。

【参加申し込み方法】 次の①～④の項目を明記の上、下記問合せ先に F a x または E メールでお申込みください。

①件名「シンポジウム参加」、②氏名（所属）、③連絡先（F a x または E メール）、④参加会場（工学部参加、生物資源科学部参加、両者の学部参加：いずれかを記載）

★申込期限 平成22年2月15日（月）

★問合せ先 日本大学工学部 研究事務課 〒963-8642 郡山市田村町徳定字中河原1番

T E L : 024-956-8648 F A X : 024-956-8878 E メール: katolab@mech.ce.nihon-u.ac.jp

後援：日本建築家協会、日本機械学会、日本建築学会、農村計画学会、日本土木学会東北支部、デンマーク大使館、NPO法人ピーグッドカフェ、NPO法人パーマカルチャー・センター・ジャパン、郡山商工会議所、郡山地域テクノポリス推進機構、（財）農村開発企画委員会、福島県、藤沢市（予定）、飯館村、Bio-City